



伊倉っ子
だより

【学校教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付け、
心身ともにたくましく生きる
児童の育成

伊倉小学校だより

第12号

令和7年11月26日

文責：校長 須藤 隆

感謝～伊倉小創立150周年記念式典～

11月22日（土）、創立150周年記念式典を、多数のご来賓のご臨席のもと、滞りなく開催することができました。多くの地域・保護者の皆様にもお越しいただき、児童と地域がともに節目を祝う心温まる一日となりました。

式典は三部構成で実施しました。

第一部は、「伊倉の歴史をふり返る」動画でスタート。続く学校主催の式典では、蔵原玉名市長よりお祝いの言葉をいただき、明治8年から続く伊倉小学校の歴史を受け継ぐ決意を新たにしました。

第二部は、児童主体の学習発表会でした。1・2年生は、日頃お世話になっている地域の皆さんへの「ありがとう」の気持ちを、元気いっぱいの言葉と歌に込めて発表しました。3・4年生は、玉名市音楽会でも披露した「スーホの白い馬」を合唱し、美しい歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。5年生は、水俣病について学んだ成果を劇「みなまたの木」として表現。水俣病の悲劇や命の重さ、伝えていく責任を力強く演じました。6年生は、修学旅行での平和集会を再現し、戦争の悲しみや平和を守る大切さを自分たちの言葉で真剣に伝えました。



第三部は地域主催の発表でした。玉南中学校吹奏楽部と玉名スイングオーケストラの皆様による迫力ある合奏には、玉南中の先生にもご参加いただき、会場が一体となって音楽を楽しみました。「伊倉仁〇加」の皆様は「神と髪は紙一重」と題した演目で、伊倉に伝わる芸能の魅力を披露してくださいました。実行委員の津上さんの御礼の言葉ののち、最後には人文字の撮影を行い、多くの方々の協力により「い・く・ら・150th」の大作が完成しました。

今回の式典を通して、保護者・地域の皆様との温かなつながりを改めて感じ、日頃から支えていただいていることへの深い感謝の思いでいっぱいになりました。実行委員長を中心とした実行委員会の皆様には、昨年度からの綿密な準備、前日の会場設営、当日の運営、終了後の片付けまで、多大なるご尽力をいただきました。特に、実行委員会事務局の皆様には何度も集まり、話し合いを重ねていただきました。

また、伊倉支館や伊倉校区の皆様、伊倉商店会、伊泉会、PTAからの資金援助、保護者・伊倉交通安全協会・老人会、伊泉会、そして地域の皆様による美化作業、道路沿いの式典旗の設置のご協力、保護者による人文字デザインの制作など、紙面には書き切れないほどの多くの力添えをいただきました。玉南中からは300脚を超える椅子を快く貸していただきました。また、人文字に参加した卒業生の中学生・高校生が、式典後に自主的に椅子の片付けを手伝ってくれた姿から、伊倉小学校が代々大切にされてきたことを強く実感しました。

皆様のおかげで、創立150周年の節目を心温まる形で迎えることができました。いただいたご厚意を忘れず、今後も地域に愛される伊倉小学校をめざしてまいります。引き続き本校教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

